

第6巻第2号
通巻第62号

太郎曰、 寧為豚口、無為牛後 たるういはく、 とんこつとなるも、 ぎゅじゅとなるなかれ



発行所 東京都杉並区成田東4丁目3番44号 〒166-0015 からす新聞本社

からすホームページ <http://www.go-karasu.com/>

投書・お問い合わせのE-mail : colors@go-karasu.com

テレビは、空気のように、普通の家ならあつて当たり前な今日。私たちの日常にすっかり浸透してきている。「テレビのある家」「テレビのない家」という話題は、私がごくごく小さい頃には、文字通りの意味を持っていたものだけれど、現在では「テレビのない家」というのは、何かテレビに關して特別な信念を持っている家庭のかな、と勘繰りたくなるような。

それほど身近な存在であるテレビだが、さて、「テレビを見る」という行為、一体どういう行いを指すのだろうか。きちんと説明しようと考えるとき、存外、説明しがたい要素を含んでいることに気づく。

テレビ番組そのものを見る行為こそが、テレビを見る「こと」なのだろつ。合間合間に流れるCMはどうか。家に帰ると、取り敢えずテレビをつけるという人々は、テレビを見ていることにはならないのか。テレビはつけているものの、画面は状況に応じてたまに眺めるだけでもっぱらラジオのように耳だけを預けているような人々もいる。家族が揃った食卓で晩御飯のBGM的な存在であることだつてあるだろつ。

孰れにせよ、テレビはかつてのような、正面から向き合つてデータを受け止めるような存在ではなくなつてしまつていて。少なくとも、その濃度はどんどん薄れてきてしまつていてのではない

か。ありがたみも薄れ、情報の信頼度も薄れ、正しい日本語も薄れ、知性も薄れ、笑いも薄れ、何もかもがどんどん薄まつていくその姿は、時代に対応した結果なのかもしれない。インターネットの普及で情報の垂れ流し状況に人々が慣れてきてしまつていてという要素もある。


食後の珈琲を飲みながら新聞を読んでいたある日、例によつて薄つべらな存在のテレビから、どきどきとするようなフレーズが流れてきた。細かいところはあやふやなもの、戦いを止めるには戦いしかないので「か」と少女が問いかけるもの。何を宣伝しているものだったかという、制作者にとっては肝心なところは忘れてしまつたが、テレビ・ゲームが何かのCMではなかったか。たかがゲームのたかが広告じゃないか、と笑つてもできるだろつ。けれども、「コネテイクト生まれの権太や、その操り人形と化している極東の薄笑いを浮かべた脳足りんなどが、粗暴な振舞いで世を騒がせている昨今、なかなか考えさせられる科白ではある。

孤独を好む人も世の中にはたくさんいるし、他者との関わりがなければ、戦争など起こる余地はないけれど、CMにはつとめる必要もない。けれども、現代社会では、人が他者と関わりを一切持

(最終面に続く)

今日の紙面から

- 二面 オーラ面
- 松本と話をしよう(ポンパン)
- 三面 からすライブラリー
- CD 『ヤァーカスターロワイ・ウエイトレス』
- 本 『キャッチ=22』
- 映画 『8マイル』
- 四面(国際アート面)
- ロンドンレポート
- 五面(語面)
- 危険なハド・ベター



からす新聞は××××が母体となつて、世界に文化と芸術を発信すべく発行しています。
誰でも自由に参加できます(無茶じゃない範囲で)。



太郎曰、
寧為豚口、無為牛後。

たろついはく、
とんこうとなるも、
ぎゅうごとなるなかれ。

太郎曰、
巧言牛井、鮮矣牛。

たろついはく、
こうげんぎゅうどんには、
すくないかなぎゅう。

太郎曰、
不亦樂乎。
たろついはく、
またたのしからずや。





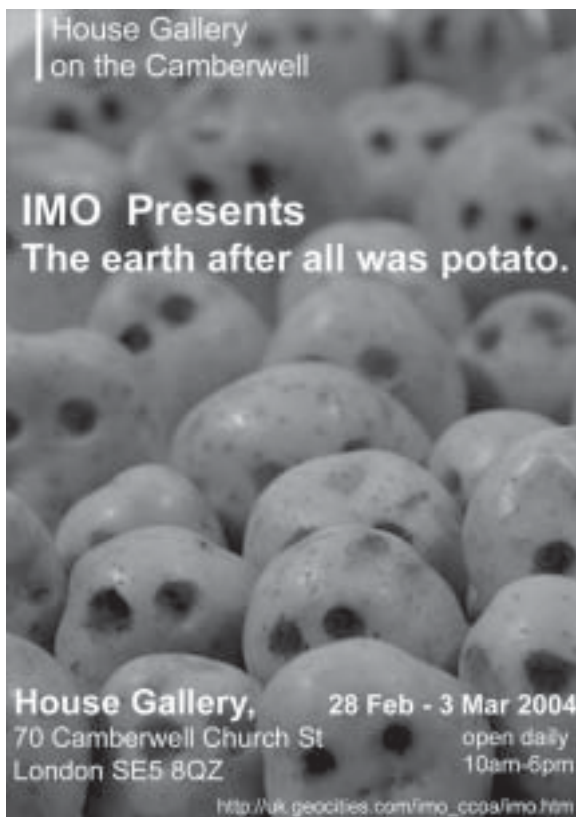
食べ物

外国に住むことで、まず最初に日本が恋しくなると言えば何だろうか？それはやっぱり食べ物ではないだろうか。元からそんなに食べ物にこだわるという性分でもないのだが、こちらに来て食の有り難さが前よりも分った様な気がする。ずいぶんと自分で料理もするように分った。多分これは、一人暮らしをしている所為ではなく、イギリスに住んでいる所為だろう。

食べ物がまずいと評判の国だが、その事自体は余り気にならない。美味しいレストランも結構あるし(イギリス料理のレストランは余り見かけないのだが)、文化の違いにさえ慣れてしまえば、そんなに困ることはないのだ。では、一番の違いは何か？何よりも、手軽さ。日本では、何処でも手軽に低予算でソコソコ美味しいものが入るのである。コンビニからはじまり、牛丼屋、ラーメン屋と、24時間、至る所で食べ物を買える、食えると言う事は実に有り難いことだ。牛丼が牛丼屋からなくなるとのニュースは大変に残念だが、それでもこちらに比べれば日本はまだまだ羨ましい。経済的な理由も伴い、ない物は自分で作るしかないと言う理由から、日本で一人暮らしをしていた時は殆どしなかった料理をするようになった。最近料理のレパートリーが

増えたのと同様に、簡単に安くあげると言う事なども少しは上手になったように思う。パスタ、米、パン、などの主食と共にじゃがいも、卵、トマト、たまねぎ、ひき肉ぐらいがあれば大抵は何とかなってしまふ。そんな中、一つ気が付いたことがある。こちらの国では特にそうなのだが、じゃがいもの出現率の多さ。日本食なども考えに入れると、本当に色々な場面でお目にかかる。フィッシュ&チップス、ジャケットポテト、マッシュポテト、煮物、カレーなど実に様々に形を変えて登場する。そんな事を話しているうちに、ポテトのエキシビジョンをやる事にまでなってしまった。ちょうど学校で「グループで何かアクションを起こす」という課題が出たと言うのが本当の理由ではあるのだが。写真を見て気が付いた人がいるかもしれない。実はこれ、Anthony Gormleyと言うアーティストの「Field For British Isles」のパクリなのである。これは自分の専攻とは別の課題なので、みんなそれぞれ自分のメジャーが忙しいうちで大変な思いをしての準備だったが、7.5kgのじゃがいもの袋を60袋、巨大なショッピングカートにそれぞれ15袋づつ積みゴロゴロと運んだのは、いい経験になったかもしれない。フィッシュ&チップスでも食べに来るついでに、覗いてみようなんて物好きはいるだろうか。

(神山)





『蹴りたい背中』

綿矢りさ

ISDN4309015700、2003年



結論としては何かネガなものが背中に溜まっているのは間違いないだろうということだった。

「蹴りたい背中」。その主人公の長谷川初美の高校のクラスメイトである「にな川」も猫背である。女性ファッション雑誌のあるモデルの強烈なマニアで、教室内では引きこもっている。そしてその

にな川はそのモデル、「オリチャン」のあらゆる情報と、とのあらゆる妄想を溜め込んでいる。ある日、理科の授業の実験でグループを作ることとなった。そこで

で漏れたのが主人公の初美と、にな川であり、初美は自分もクラス内で孤立した存在であることを再認識し、どこか親近感を覚えるようになる。初美の場合、

クラスのメンバーを自らの細やかなる過装置を通してみた結果、自ら孤立を選択したという点ではにな川とは違っているのだが、

が、それを契機にな川との交流が始まり、自宅の部屋を訪れたり、一緒にオリチャンのコンサートに行ったりすることになる。

「この、もの哀しくも丸まった、無防備な背中を蹴りたい。痛がるにな川を見たい。いきなり咲いたまっさらな欲望は、閃光のようで、一瞬目が眩んだ。」

愛なのか、恋なのか、憎悪なのか。高1の思春期にいる初美をえたいの知れないエロスの衝動がにな川を蹴らせる。そしてそのえたいの知れないものがゆっくりと初美のなかで意識化され顕在化していく。

「はく息が震えた。」

(ピンポンパン)

不法侵入者？ 上等だ。 まとめてかかかってきやがれ。

あなたの平穏な生活を脅かすストーカーを本場米国で培った最新の技術と装備を駆使して退治します。
あなた一人で悩まないでください。

ストーカー バスター

相談無料
秘密厳守

防犯用品販売・
防犯対策指導も
致します。

tora@pda.co.jp

1843 N. Cherokee AVE: APT. #216

Los Angeles: CA 90028, USA

voice : +1-310-493-1001

facsimile : +1-323-466-5645

produced by

P.D. Agency

belle and sebastian

0128@ 渋谷 AX - 0129@ 渋谷公会堂



待ちに待って2年半。待ちくたびれて2年半。あの時子供を生んでりゃ、もう2歳半。
 そんなわけで、ものすごい期待と妄想を膨らませて、朝なんか∞時に出社しちゃったりするくらいの盛り上がりをもって、渋谷に向かった。といっても、着くころには前座が始まっているのだけだ。

会場に入ると天井一面CD貼りで、「おお、これが噂の!」と小さな感動を憶える。渋谷はXはみかんぐみの設計ということもあり、ビールを飲みながらしばし観察する。ホール内に入るとえらい混みよう。みんな力みすぎ。わたしも力みすぎ。前座のユージン・ケリー(カート・コバーンも愛したヴァセリンスズの人)の歌だけが緊張感のかけらもなく流れる。懐かしい。

そして、始まる。ベルセバ登場。会場ビーク。外人多い。なんというか、悪くない、この雰囲気、なんて思いながら顔にはやけっぱなしである。正直、この日のベルセバは演奏が超下手な上にコーラスも音程を外すので、ハズレ日だったのだ。聴く人によっては、千年の恋も冷めてしまうようなライブではあったのだが、千年の恋はそう簡単には冷めないらしい。下手でもそこに存在していることが、重要だった。

明るる日、再び渋谷へ。今度は渋谷公会堂。基本的にライブとはスタンディングが盛り上がるものだと思っていたけれど、それが簡単に覆される。だって。それは、わたしのポキャプラーでは表現できないほど、素敵なライブだったのだ。5年間生きてきて、私の知ってる世界など本当に小さなちいさなものなのだろうけれど、そんなミクロの世界でかつてない感動を味わってしまったのだ。感動が溢れて止まらなかつた。それくらい大げさに言っていないはずである。

そんなわけで、断食の後の水のように身体中にベルアンドセバスチャンの音を吸い込んでしまったせいで、その後一週間は何かというベルアンドセバスチャンを聴いていた。それは、煙草を吸わないとヤニ切れしてしまうような感覚に近い。音楽は危険だ。ひとの脳みそを簡単におかしくしてしまうのだから。こんな熱い(寒い)ことを書くつもりはなかったのだけれど、ほんとうに良かったのだ。だからしょうがない。(と)



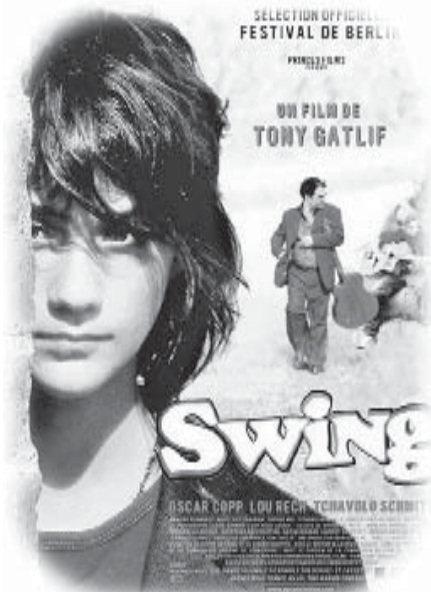
僕のスウィング (Swing)

2002年公開 (フランス)

DVD : 日活

監督・脚本 : トニー・ガトリフ

出演 : オスカー・コップ、ルー・レッシュ、チャヴォロ・シュミット、マンディーノ・ラインハルト



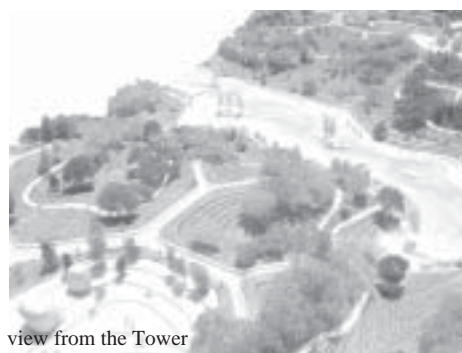
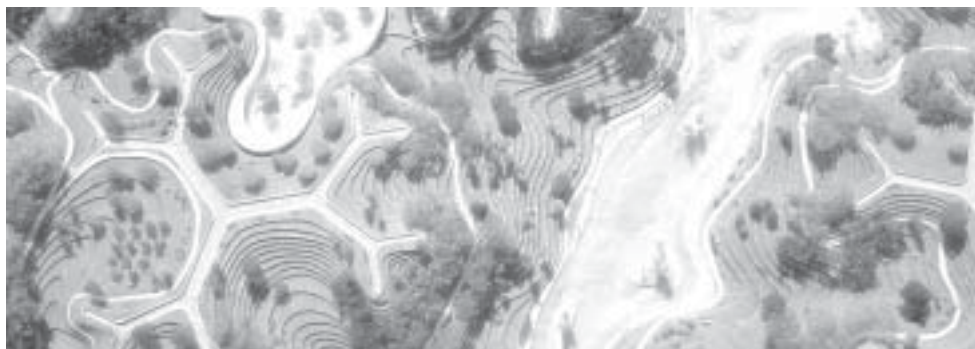
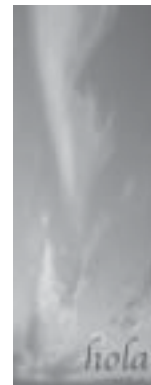
古くは『小さな恋のメロディー』以来、実によくみかけるロージーのラヴ・ロマンス。数が多い上に、過半のストーリーが見え透いていて。しかも、登場人物たちはただの下手っぴいかうますぎて嫌らしいかのどちらかにきまっている。たいていの場合は、見終わってうんざりするばかり。

最近のものでは同じ二〇〇二年の『ごめん』も悪くはないものだった。しかし、それ以上に素晴らしいのがこの作品だ。子役三人の立ち居振る舞いの何もかもが、景色の風合と相俟って、時として眩しいほどで、くつきりと胸に残る。夏の光とギターの紡ぐメロディー。少女の瞳、少年の笑顔。風が川を渡る。

定石通りに、夏は終わる。少年はみんなを残して、自らの日常に戻ってゆく。スウィングの手に残された彼の日記。いつか彼女が字を読めるようになる日が来るのだろうか。彼らはまたどこかで出会うことがあるのだろうか。出会えたとして、二人の間の目に見えぬ壁は超えられるものなのだろうか。そんな余計な思いを馳せてしまうようでは、私は些か歳を取り過ぎたのかも知れない。

(全太)

再生されるガビア川
 生物多様性を育む下水処理場のリサイクルシステムとランドスケープ
 人々のアクティビティが喚起される。
 (篠崎健一)



Children's Playground



マドリッド・パークの全貌



被害者が計画的犯行か

以下、太字を特に強く発音するものとする。

ヤフー BB :

Police? We had our customer data stolen!

「警察ですか？わたしたち顧客データを盗んでもらったんです！」

警察 :

Hello?

「もしもし？」

もちろん通報者は「盗まれたんです」と言いたかったはずだが、もしかして陰謀を明るみに出そうとする内部告発か。とりあえず言いまちがえと仮定すれば、発音の仕方に問題があるのだが、それ以前にあなたは、

We had our customer data stolen!

に2つの意味があることを御存知だろうか。事は「受け身」と「使役」に関わる。まずは受動態の話から始めよう。

「おれの自転車が盗まれちゃったよ」を、あなたはどんな英語にするだろうか。

My bike was stolen.

これが正解。受動態の公式は、<be動詞+過去分詞>である。では、「おれ、自転車を盗まれちゃったよ」だったら？

I had my bike stolen.

である。公式は、<have ~ 過去分詞>で「~を・・・される」。『被害の受動態』『経験受動態』などと銘打たれて高校で教わる文法だ。現在でも大学受験の要注意チェックポイントだが、ふつうの受動態としっかり区別するように、との教師の声を覚えている人も少なくないのでは？

ところで、受動態とは別の「使役」のところで、あなたはこんな例文を覚えさせられたかもしれない。

I had my hair cut. (cut は過去分詞)

「わたし、髪の毛切ってもらったんだ」

同じ<have ~ 過去分詞>なのに、こちらは「~を・・・してもらう」。『切られた』でもいいじゃないか。どうなってるの？と悩むあなたは、紛れもない縦割り文法教育の被害者である。整理してみよう - - -

<have ~ 過去分詞>には、文脈次第で2通りの訳がある。実際の会話では、過去分詞を強く発音すれば「~される」、have が強ければ「~してもらう [させる]」。また、実際の会話ではなく小説などであっても、ふつう文脈次第でふさわしい訳は判断できる。



学校英語に忘れたものありませんか。

これを踏まえて冒頭のセリフを考えてみる。

We had data on our users stolen!

「わたしたち顧客データを盗まれたんです！」(stolen を強く)
「わたしたち顧客データを盗んでもらったんです！」(had を強く)

まちがいは、had を強く言ってしまったことであつたのである。そんなわけで、文脈次第では、次のような解釈も十分あり得るのである。

まんまと計画どおり新しい自転車を買ってもらった少年 :

I had my bike stolen.

「おれ、自転車を盗んでもらったんだ」

髪切りデスマッチに破れた女子プロレスラー :

I had my hair cut.

「おれ、髪の毛を切られちゃったよ」

そのほかの例も見てみよう。それぞれ太字が強調される語である。

悔しがる力投したピッチャー :

I had my money pitch hit for the game-deciding homer.

「決め球を決勝ホームラン打たれちゃった」

ほくそ笑む八百長に成功したピッチャー :

I had my money pitch hit for the game-deciding homer.

「決め球を決勝ホームラン打ってもらったわけよ」

憮然として :

I had my tooth pulled out by the quack.

「やぶ医者に歯を抜かれちゃったよ」

すっきりして :

I had my tooth pulled out by my family dentist.

「いつもの歯医者さんに歯を抜いてもらったんだ」

歴史的事実 :

America had Pearl Harbor attacked by Japan.

「アメリカは日本に真珠湾を攻撃された」

歴史的可能性 :

America had Pearl Harbor attacked by Japan.

「アメリカは日本に真珠湾を攻撃させた」

(望月)

(一面から続く)
 たずに生きるのには、限りなく不可能に近い。何しろ、生まれ落ちたその日から、私たちは家族のみならず、国家の一員としてシステムに組み込まれ、好むと好まざるとにかかわらず、権利と義務を与えられ、その中で規則に抵触しないように生きていくことを要求されるのである。

その社会の基本的な仕組みはどんなものかというところ、土台にあるのは等価交換である。金銭による売買がその代表的な例だと言って良い。物や技術や情報をそれに相応しい金額と交換すること、人々の生活の基本はこれで支えられている。六〇億以上の人間がこの星の上であらでもないところで生きて生活しているのだから、多少の遠回りしたり近道したり、正規のルートを行ったり抜け道をこっそりと……そんな具合であるからして、話をひとつに括るのは難しいけれど、兎にも角にも、目に見えない経済信仰が世界の交換経済を支えている。これが最良方法だというわけではない。古代には、ごくごく内輪での物々交換という、単純でそれ故に誤解の余地の少ない仕組みか

ら始まったとはいえず、社会が膨らんでいく過程で、距離や時間の離れた人々とやり取りする必要上、自然経済から貨幣経済へと移行せざるを得なかったのである。善いこともあり悪いこともあった。

交換システムの最大の問題点は、何と何が等価かという判断の困難に尽きよう。実のところ、物の価値なんぞ人それぞれなわけで、完全な等価を実現することは本質的に不可能なのである。両者が得をしたような気になる交換もあるだろう。損をしたような気になる交換もあるだろう。一方が得したように、他方が損したような気になる交換もあるだろう。それにしたって、買物であるのなら、それは当然同士が納得して、しかも、規則に舐れていないのなら、問題が発生する可能性は少ない。

ややこしくなるのは、交換システムは必ずしも経済活動だけに限ったものではないからだ。例えば、ノーパンしゃぶしゃぶ連れてってくれたらお

たくの薬をどんどん注文してあげるよ……経済支援をしてくれるのなら核の開発を見直してもみよかな……人を殺しちゃったので何年かつとめてきます……合格させるかわりに寄付金をたつぷりとお願ひしますよ……気分が悪くなってきたので、この辺りでやめておくれ、枚拳に違がない。

例えば、あなたの家族の命が失われたときに、その原因を作った者にはどんな罰を与えれば等価なのか。仮に、ひとりの異常者が多くの命を奪ってしまった場合、一体、如何なる等価がありえるのか。白屋敷の豪華な椅子に踏ん返り返っているやくざものの命令で数多の命がイラクで失われてしまった。一体どんな等価がありえるのか。

ここで先のCMを思い出してほしい。戦いを止めるには戦いしかないのですか。あなたはへと答えるだろう。



Ken-ichi Shinozaki,
 architect

Voice : +81-3-3220-0644
 Facsimile : +81-3-3220-0640;
 e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp
 篠崎健一アトリエ

bar & kitchen kanna



ampm marusho
 あいロード商店街
 新井薬師前駅→

早稲田通り
 中野通り
 中野プロロードウェイ
 中野駅↓

営業時間
 平日・土曜日 11:30~15:00 / 17:30~25:00
 日曜日 17:30~25:00

定休日
 毎週火曜日 & 毎月第3日曜日

中野区新井1-30-6
 第1三層ビル1F
 Tel : 03-5343-1316

お一人でも気軽に楽しめる、食事もできるShot Barです。ビール、パーボン、焼酎からカクテルまで、豊富なお酒と、季節の素材を取り入れた手作りのオリジナル料理を手頃な料金で御提供いたします。

木とテラコッタを基調にしたギャラリー風の店内は舞台スタッフの手作り。ぬくもりの中に遊び心が溢れ、くつろげます。

作品の展示、音楽、演劇等のイベントも規格スペースの提供も行っておりますので、興味のある方はご相談下さい。

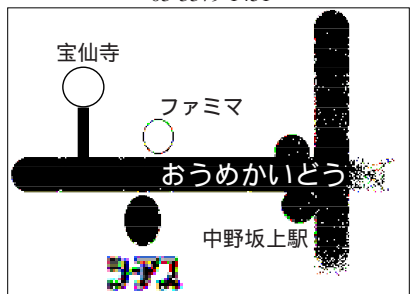
各種パーティ、打ち上げにも最適です。

編集後記
 からす新聞第六巻第一号(通巻第六号)無事、発刊できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発刊予定日は二〇〇四年三月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

1クラス4人までの少人数制学習塾

アリス

中野区本町2-50-12 ドエル中野201号
 03-3379-1451



宝仙寺
 ファミマ
 おうめかいどう
 中野板上駅

アリス